

# 城陽市障がい者自立支援協議会

## 第3回 聴覚言語障がい支援部会報告書

報告者 部会長 障害者生活支援センター はーもにい 山崎 伸治

標記について下記のとおり報告します。

日 時	平成 23 (2011) 年 10 月 7 日 午前 10 時 ~ 12 時
場 所	城陽市役所 第 1 会議室
出席者	城陽市福祉課 相談支援事業所・はーもにい 手話通訳者の会・要約筆記奉仕委員会・手話サークル・要約筆記サークル
検討課題	今年度優先する課題の抽出

### 【議事録】

#### 1. 報告事項

- ・9/16 自立支援協議会 全体会について

#### 2. 優先する課題

前回の会議で、課題を具体化する方法のあがった「支援マップの作成」「啓発のための出前講座」「親子手話教室」「ネットワーク作り」の中から、今年度実施を目指すものを協議。

##### (1) 支援マップ

東北震災後、各地で災害が続いており、地域に根差した「支援マップ(資源情報)」は緊急性が高いと判断。

支援マップに掲載する情報は、当事者のニーズ把握が重要であるため、次回の会議に当事者の参加を依頼。

現在の災害に備えた情報(避難場所、備蓄、拠点整備、人的支援など)を収集する。

災害時の手話通訳や要約筆記などコミュニケーション保障のあり方、人的支援とその可能性について継続協議する。

##### (2) コミュニケーション保障

障害者基本法の改正(手話を含む言語や意思疎通のための手段についての選択の機会を確保すること、情報の取得又は利用のための手段についての選択の機会の拡大に取り組むこと)を受け、コミュニケーション保障について検討していく。

市主催の公的行事には、当事者からの手話通訳や要約筆記の依頼のあるなしに関わらず、情報保障がなされるように『合理的配慮』について協議し提言する。